



# 両津小だより

両津小学校  
R2.11.5  
NO. 7

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊200-1 電話 0259-27-3642  
ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp/> Eメール ryoutsu-es@sado.ed.jp

## 家族と共に，友だちと共に

校長 三浦 一富

7月30日(木)，1学期の終業式の日「2学期の学校行事の見通し」というおたよりを配りました。

そこでお知らせした学校行事－9月9日(水)の秋の野外体験活動、9月24日(木)・25日(金)の6年生修学旅行、9月29日(火)のマラソン大会、10月10日(土)の運動会、10月24日(土)・25日(日)の文化祭(作品展・PTAバザー)－のすべてを実施することができました。

子どもたちにとって、「楽しみ」「やりがい」「思い出」につながる行事になりました。保護者の皆様のご理解とご支援のお陰です。心から感謝申し上げます。

さて、10月30日(金)に曾我ひとみさんをお迎えし、「家族に対する想いを共に考える会」を実施しました。「曾我ひとみさんの講演を聴くことを通して、身近な地域で起きた拉致問題や家族などの大切さについて考える」ことがねらいです。

コロナ対応が必要なため、会場を広い体育館で行いました。このとき、曾我ひとみさん以外のゲストを2人お迎えしていました。今年3月末で退職された小林尚子先生と、今年4月から「佐渡ことば・こころの教室」の指導担当者として両津小にお勤めの逸見十糸子先生です。

実は、小林先生も逸見先生も、曾我ひとみさんとは小・中学校の同級生なのです。3人が同じ機会に、子どもたちの前に立つ場面はなかなかありません。そこで、曾我ひとみさんの講演の後、第2部として「友だちものがたり」と題して、これまでの思い出を語ってもらう場面を設定しました。

3人が一緒に小学校(真野小)の合唱部で活動していた時のこと。曾我ひとみさんが突然いなくなった時のこと。平成14年(18年前)に北朝鮮から帰国し、「友だちとやっと会える」と思った時のこと。そして、今も続く友情のありがたさ……。



(左から逸見先生、小林先生、曾我ひとみさん)

時を経た思い出を交えながら、「友だちの大切さ」への素朴な想いを、3人から語ってもらいました。子どもたちも真剣に耳を傾け、家族への想いと共に、友だちに対する想いも新たにしていたようです。

最後は、「ふるさと」の全員合唱をして終わりました。両津小学校ならではの企画となり、有意義な会とできました。